

平成 30 年 2 月 28 日掲載

<子供たちに税の使途について考える機会を提供した好事例>

いっしょに考え いっしょに学ぶ ～小さな部会の大きな挑戦～

指宿法人会（鹿児島）

<活動対象> 中学生

<活動の概要>

- ・これまでのクイズや講話等の租税教育活動から脱却して、「子供たちの声、考えを聴きたい」という想いを抱くようになり、新たな租税教育活動を開始。
- ・1年目には「税がない世界」をテーマにグループディスカッションを実施。子供たちがしっかり自分の考えを持ち、意思を伝えることができることが分かった。
- ・そこで2年目には「消費税増税に賛成か反対か」をテーマに、ディベート方式を導入。将来を担う子供たちが自分のこととして真剣に考えてグループディスカッションに臨んでいる様子が伺えた。

<参考資料>

租税教育活動プレゼン資料

<摘要>

特になし

<出典>

平成 24 年度租税教育活動プレゼンテーション（宮崎大会）より



これまでの租税教室活動

租税教育活動は、毎年、租推教推進校を対象に、税金クイズや、〇×クイズ、税務署職員による講話、ビデオ鑑賞等の繰り返しでした。

指宿市立開聞中学校、2年間の複数年での開催が決まり、さて…今年の租税教室活動…どうする？

でも…毎年行っている俺たちの租税教室って子供たちにとって…



いつも通り？

クイズでいいよ…

講演とビデオ鑑賞

いつもの定例会で、今年の租税教室活動について、話し合いがなされました。そこで、胸の奥に詰まっていた、ある疑問が…こみ上げてきました。

子供たちの声、考えを聴きたい

今年の租税教室活動は、子ども達にテーマを設定し、グループディスカッションを行ってもらおう。そしてグループで出した意見を取りまとめ、発表してもらおう。



上手くいくかどうか… わからない。

子供たちは、積極的に意見を述べるのか？ 手を挙げてくれるのか？

“この手法は、子ども達のやる気に全てがかかっているな”

こうして始まったこの学校での2年間の取り組みが幕を開けた！

租税教室活動【開聞中学校】

～2年目～

租税教室

〈開聞中学校〉

第2回目

2010年10月6日

社指宿地区法人会 青年部会



昨年引き続きテーマを設定し、グループディスカッションしてもらう。
しかし、今回はディベート方式を導入し、反対意見を聞きながら、再度ジャッジする。

今回のテーマは・・・ 将来を担う子供たちが、自分のこととして考えてくれました。

消費税増税
賛成？ or 反対？

将来を担う子供たちが、
自分のこととして考えてくれました。

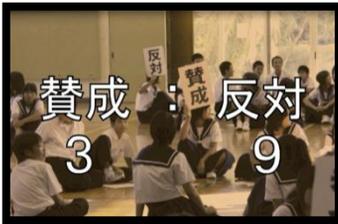
ディスカッションの流れ

- ① 第1回 判定
↓ 意見交換
- ② 第2回 判定
↓ 意見交換
- ③ 第3回 判定

<1回目>

<2回目>

<3回目>



賛成意見

福祉や年金の財源に増税は必要。

賛成意見

国の借金を減らすのに必要。

反対意見

税金の無駄遣いを減らすのが先。

反対意見

稼ぎが少ない人には負担が大きい。



揺れ動く気持ち。賛成意見・反対意見・・・子供たちは真剣に考えました。



今回の租税教室活動を通して、我々も考えさせられた・・・